

資質・能力の育成に向けた カリキュラムマネジメントの手引き

(令和5・6年度)

Yさんは、落ち着いた性格で、誰からも信頼され慕われています。中体連の大会に向けた特設陸上部の練習の際に「長距離がすごい」、「長距離頑張っている」と、Yさんの姿に対する「ほめポイント」が多数あがりました。その後、Yさんは、地区の陸上練習会や記録会、ふくしま駅伝への出場、新人陸上大会での入賞など、1人で挑戦し自己ベストを更新し続けています。

さらに、自己マネジメント・シート(キャリア・パスポート)で「はっきりと大きな声で話し、堂々として状況にあった行動ができる」と、Yさんは第1四半期の学級目標(重点資質・能力)への評価基準(レベルA)を設定しました。その第1四半期で最もできたこととして「前の僕と比較して、積極的に行動できた」と、Yさんは確実に自分の成長を感じ取っていたようです。

その後、Yさんの自己マネジメント・シートには「自信をもってみんなに考えを伝えていてすごい」、「積極的に行動する場面が目立っていた。見習いたい」など級友からのほめほめ会でのコメント、成長を称賛する担任のコメント、将来に向けた保護者のメッセージが記載されました。

Yさんの変容は、意思決定した目標に向けての本人のたゆまぬ努力の成果です。そして、子どもの資質・能力を柱とした、本校の組織的なカリキュラム・マネジメントの充実の成果とも考えています。



この「カリキュラム・マネジメントの手引き」により

- 1 学校教育目標がより明確になり、(1)子ども、(2)学校教育目標、(3)教育課程が相互につながります。
- 2 教職員が学校経営に参画しやすくなることで、指導改善・授業改善はもとより、学校組織改善にもつながります。
- 3 学習指導要領(学びの地図)とともに子ども・保護者・地域と共有することで、社会に開かれた教育課程を実現します。



三島町立三島中学校

もくじ

【本 編】

1	子どもたちが身につけたい重点資質・能力の設定	-----	1
2	「見える化」「共有化」「意識化」の「3つの化」	-----	2
3	四半期制による資質・能力の評価・改善	-----	3
4	「ほめポイント」でほめて伸ばす資質・能力	-----	4
5	「自己マネジメント力」の育成 その1	-----	5
6	「自己マネジメント力」の育成 その2	-----	6
7	客観的データによる見取り及び教育課程評価	-----	7
8	ふるさと学習による資質・能力の育成	-----	9
9	資質・能力の育成に向けた授業改善	-----	10

【資料編】

1	学校経営ビジョン	-----	1
2	重点資質・能力	-----	2
3	ほめポイント	-----	3
4	自己マネジメント・シート	-----	4
5	自己マネジメント表	-----	5
6	生き方マネジメント	-----	6
7	個人指導用カウンセリング・シート	-----	7
8	学級指導用ガイダンス・シート	-----	8
9	学級力レーダー・チャート	-----	9
10	キャリア調査	-----	10
11	キャリア調査のアンケート項目	-----	11
12	学校評価(自己評価)	-----	12
13	「主体的・対話的で深い学び」授業づくりのポイント	-----	13

【 1 】子どもたちが身につけたい重点資質・能力の設定

C「重点資質・能力を1年間を通して身につけていきたい。後輩のお手本として、先輩をお手本として、頑張りたい」

- キャリア教育推進のため学校教育目標を「基礎的・汎用的能力」に価値付けし、「未来への人づくり」が達成された子どもの姿を、具体的に設定しました。具体的なため、評価・改善がしやすいです。

【学校教育目標】「未来への人づくり」が達成された子どもの姿<資料 P.1>

自分の良さを知り (自己理解能力)

人とのつながりを大切にでき (人間関係形成・社会形成能力)

自己の役割を果たし (課題対応能力)

計画的に行動できる生徒 (自己管理能力, キャリアプランニング能力)

四半期制

目標	能力
自分の良さを知り	自己理解能力
人とのつながりを大切にでき	人間関係形成・社会形成能力
自己の役割を果たし	課題対応能力
計画的に行動できる力	自己管理能力 キャリアプランニング能力

【第1 四半期】 4月初旬～6月中旬

1年 時と場に応じたあいさつ、受け答えが確実にできる。 (人間関係形成・社会形成能力)

前よりも進歩ができた。 (自己理解能力)

役割を自覚し、責任ある行動ができる。 (自己理解能力, 自己管理能力)

【第2 四半期】 6月中旬～9月末

3つの化

【学校教育目標の見直し】

学習指導要領・総則(*)では、「(抜粋)育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にする」とあり、学校教育目標を資質・能力に価値付けることが求められました。そのためには、教育課程とともに、学校教育目標の不断の見直しが必要と考えられます。

(*)総則「第2 教育課程の編成 1 各学校の教育目標と教育課程の編成」

【重点資質・能力(学級教育目標)】<資料 P.2>

- 「重点資質・能力」は、学校教育目標を達成するために、子どもたちが身につけたい資質・能力です。実質的な「学級教育目標」です。
 - ・ 何でもかんでも育てましようではなく、焦点化することが重要です。
 - 具体性のない目標も問題で、具体性が無いと何も育ちません。
 - ・ 学年の先生方が、目の前の子どもたちを把握して設定します。
 - ・ 「重点資質・能力」も「基礎的・汎用的能力」に価値付けします。

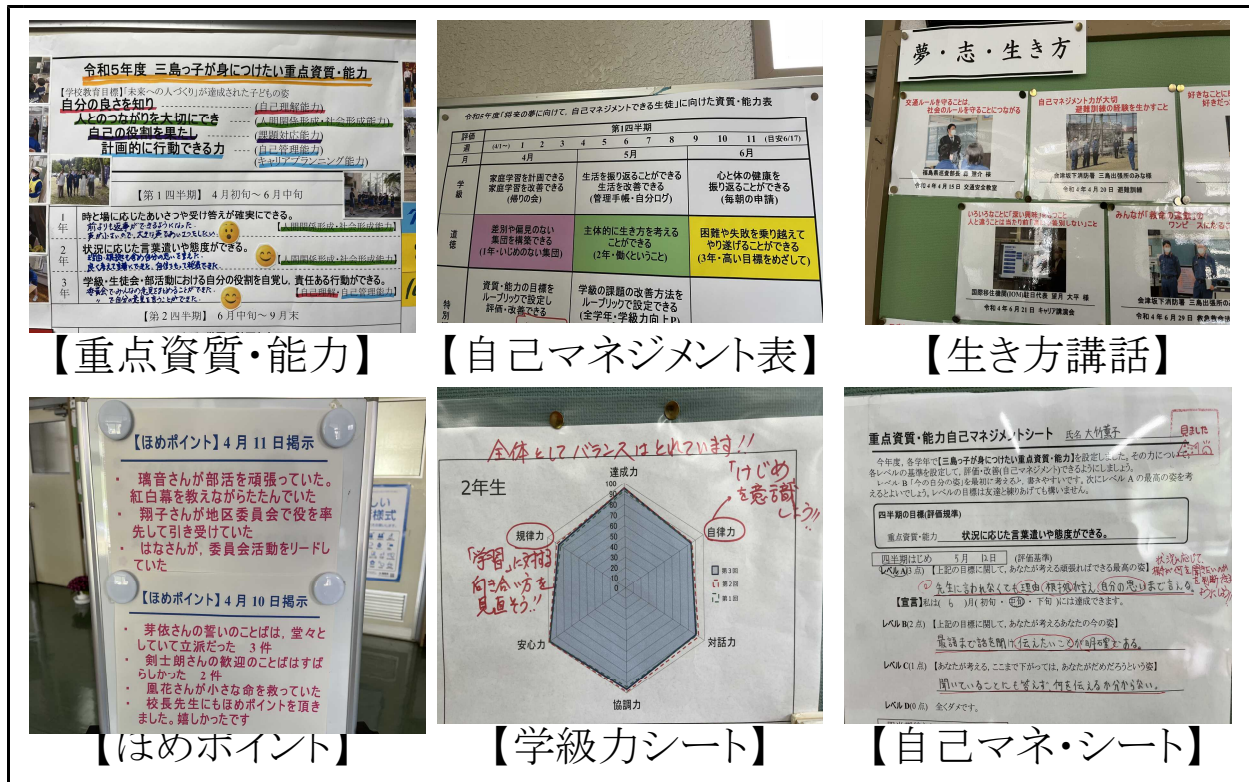
【カリキュラム・マネジメントの視点】

「重点資質・能力」は、教科等横断的な資質・能力の育成につながります。教科等横断的・組織的な取り組みが、協働する組織力の育成、そして、学校組織改善につながります。

【2】「見える化」「共有化」「意識化」の「3つの化」

C「どういことが大事なのかは分かる。自己マネ表は、今、何ができればいいのかというところまで考えられていて、見えるので、行動しやすく、改善しやすいと思いました」

- 教科等横断的な資質・能力の育成には、「3つの化」は大切です。
- 「3つの化」が運用されているものの一例です。



【重点資質・能力】

【自己マネジメント表】

【生き方講話】

【はめポイント】

【学級力シート】

【自己マネ・シート】

- 教育課程評価や学校評価、授業評価など PDCA サイクルを構築するための一つの手立てとして「3つの化」は大切です。
- 保護者・地域と「3つの化」が為されることで、学校経営への地域的人的・物的資源の活用につながります。
- 子どもたちと「3つの化」が為され「自覚化」「目標化」へ
 - ・ 身についた資質・能力が自覚できます。(「自覚化」)
 - ・ 今後身につけるべき資質・能力の目標になります。(「目標化」)
- 「自覚化」「目標化」されることで、「対話」や「協働」につながります。
 - ・ 「3つの化」や「自覚化」「目標化」は手段です。
 - ・ 最終的には「対話」「協働」による資質・能力の向上につながります。

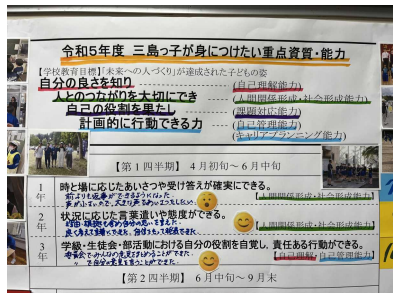
【カリキュラム・マネジメントの視点】

子ども・保護者・教職員とで「3つの化」が為されることで、教科等横断的な教育活動・指導がしやすくなります。また、カリキュラム・マネジメントが、「社会に開かれた教育課程」の実現につながります。

【3】四半期制による資質・能力の評価・改善

C「評価基準を決めて、自己評価をする。あつと言う間に四半期が過ぎるので、できたか・できなかったかが分かりやすい。そして、次の目標にも、すぐに挑戦できるのがいいです」

- 資質・能力の PDCA サイクルは、「四半期制」で充実させます。
 - ・ 四半期の区切りは、厳密ではなく状況に応じて柔軟に対応します。
 - <第1 四半期>4月～6月中旬
 - <第2 四半期>6月下旬～9月末
 - <第3 四半期>10月～12月初旬
 - <第4 四半期>12月中旬～3月末
 - ・ 3 学期制より短い期間とすることで、子どもたちが PDCA サイクルを回しやすくする工夫です。
- 「四半期制」に至った理由、「四半期制」の利点は以下の通りです。
 - ・ 評価の後、長期休業期間を挟まないの、改善しやすくなります。
 - ・ 学校の 3 学期の区切りと四半期制の区切りが重ならないため、資質・能力の評価・改善を余裕をもって行えます。
 - ・ 資質・能力を成長に応じて重層的に四段階で設定できます。
- 「四半期制」で運用されているものの一例です。

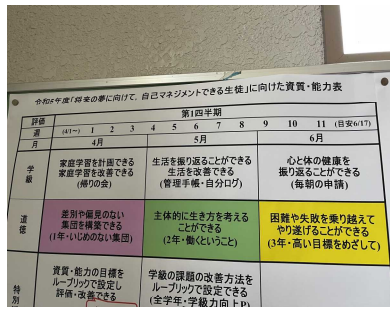


【重点資質・能力】

2 資質・能力に関して

- (1) 人間関係形成・社会形成能力 -- 85.7%
(保護者) 時と場に応じた適切な言葉遣いができる
- (2) 自己理解・自己管理能力 ----- 85.7%
(保護者) 自分には良さがあると思っている
- (3) 課題対応能力 ----- 92.9%
(保護者) 難しいことでも失敗をおそれないで
- (4) キャリアプランニング能力 ----- 64.3%
(保護者) 将来の夢や目標を持っている

【学校評価】



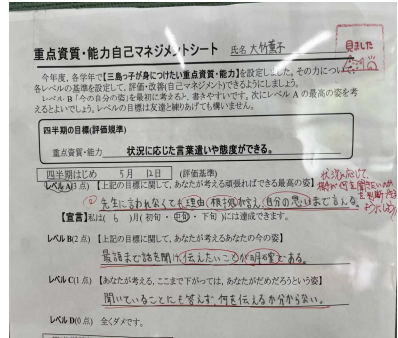
【自己マネジメント表】

	第3回	第2回	第1回
目標	90	100	95
改善	95	95	86
役割	95	90	90
団結	100	95	100

【学級力調査】

【全校】	年度当初 4・5月	第1四半期 6月
基礎的	88.9 前年度▼10.0 県比○2.3 全国比○2.0	91.7 前回○2.8 県比○5.1 全国比○4.8
自己理解・自己管理能力	77.0 前年度▼11.4 県比○0.1 全国比▼3.7	72.2 前回▼4.8 県比▼4.7 全国比▼8.5

【キャリア調査】



【自己マネ・シート】

【カリキュラム・マネジメントの視点】

計画(編成)・実施・評価・改善のサイクルを、四半期制(より短い期間)にすることで、充実させることができます。そのため、学校教育目標に向けて、教育活動を企画・運営、調整しやすくなります。

【4】「ほめポイント」でほめて伸ばす資質・能力

C「ほめポイントをもらえると嬉しい。だから、みんなにもほめポイントをあげたい。みんな良く見ているなあと感じます。人を見る目が養われていくのだと思います」

- 子どもの姿が「ほめポイント」です。<資料 P.3>
 - ・ 子ども・保護者・地域・教職員のコミュニケーション・ツールです。
 - ・ 最高の「ほめポイント」は「重点資質・能力」です。
- 「ほめポイント」の効果は以下の通りです。
 - ・ 自分のよさを知ることは、自己理解につながります。
 - 資質・能力の「自覚化」につながります。
 - ・ 他人のよさを知ることは、お互いの尊重につながります。
 - 他人の資質・能力が「目標化」につながります。
 - ・ 教職員にとっては
 - 「ほめポイント」が生徒理解につながります。
 - 子どもからの「教職員のほめポイント」は振り返りとなります。
 - 話題が「ほめポイント」で「風通しの良い職員室」になります。
- 「ほめポイント」の共有方法は次のとおりです。
 - ・ 毎朝子どもたちが、「ほめポイント」を端末で申請します。
 - ・ 「ほめポイント」は昇降口に掲示され、HP で共有されます。


【ほめポイント】5月24日掲

- ・ 不在の人の活動をみんなして頑張っていた
- ・ 美優さんの給食アラカルトのは上手だった
- ・ 理科で翔子さんが上手に実験結果の説明をしていた
- ・ 康生さんの自学ノートがすごい！


【ほめポイント】5月22日掲

- ・ 中体連でみんな疲れているのに、明るく過ごしてすごいです！
- ・ 2年生の畑の芽がほとんど出ていた。みんなで丁寧に育てたから！
- ・ 1年生が森林学習頑張っていた
- ・ 薫子さん、伸悟さん、はなさん、風花さん、健志郎さんが陸上の道具を片付けていた

【毎日更新「ほめポイント」】



3つの化



【登校時に確認】

- 保護者・地域の方からも「ほめポイント」は好評です。

【カリキュラム・マネジメントの視点】

「ほめポイント」を教科等横断的に共有することで、横断的・組織的に資質・能力を育成できます。また、学校教育目標と子どもたち、教育課程とがつながります。

【5】「自己マネジメント力」の育成 その1

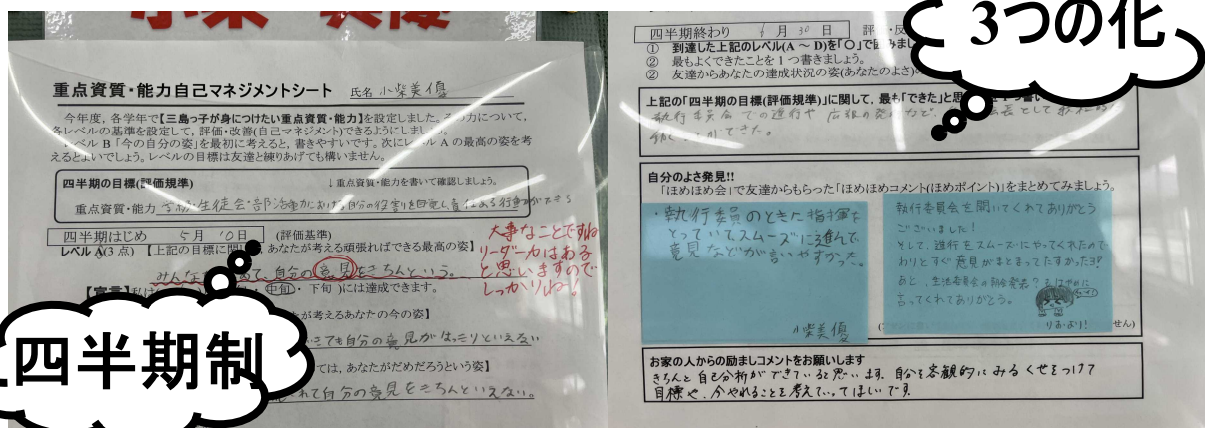
- 明確な定義をせず、多様な自己マネジメント力であることが重要です。そのため、子どもたちなりに、自己マネジメント力を考えています。

C「自分で意思決定して、主体的に行動することが自己マネジメントだと思う。卒業まででできるようになりたい」（自分なりの定義も立派、卒業まで見通す力も立派）

- 自己マネ力を育成するため「自己マネ・シート」を活用します。
 - ・ 子どもたちは、「重点資質・能力」をもとに評価基準を設定します。
 - 「子どもが創るルーブリック」としてしています。
 - ・ 四半期ごとに、自己評価・相互評価「ほめほめ会」を行います。
 - ・ 教職員、保護者が子どもたちにメッセージを記載します。
 - ・ キャリア・パスポートにポートフォリオされます。 **<資料 P.4>**

キャリア・パスポートとしての「自己マネ・シート」
 四半期制のため、年間4枚、3年間で12枚のシートを、子どもたちのキャリ・パスに積み重ねることができます。
 成長を振り返り、級友・保護者・教職員のコメントで励まされます。
 キャリ・パスは将来の自分へのメッセージ・シートと言えます。
 人と人、時空をつなぐキャリ・パスと言えるのではないのでしょうか。

「自己マネ・シート」保護者のあたたかいメッセージ (R4 第4 四半期)
 ○○は小さな幸せを見つけることが得意な子です。だから、自然と笑顔でいることが多いですね。大人になっても身近な幸せに気づける人であってほしいです。
 (校長)将来の○○さんに向けたあたたかいメッセージです。頑張る勇気がでますね。



【自己マネ・シートで子どもが回す PDCA サイクル】<資料 P.4>


【カリキュラム・マネジメントの視点】は次のページへ

【6】「自己マネジメント力」の育成 その2

C 「自己マネジメント力を高めるために、学年ごとや月ごとに、行動目標があるので意識しやすいと思いました。そして、常に心において成長したい」

- 学校教育全体で「自己マネジメント力」を育成することが重要です。
 - ・ 教科等の年間指導計画に、意図的に自己マネジメント力を育成する単元を設定します。その年間指導計画の単元に【マ】で示します。
 - ・ さらに、教科等の「とびっきりの自己マネジメント」を、一覧表に配列した「自己マネジメント表」を作成しました。
- 「自己マネジメント表」の効果は以下の通りです。<資料 P.5>
 - ・ 「これができる」と「自己マネジメント力」が高まりますという表です。
 - 「自己マネジメント表」は「自己マネ力の指標」と言えます。
 - ・ 「これができた」と資質・能力の「自覚化」につながります。
 - ・ 3年間を見通し「できるようになりたい」と「目標化」につながります。

月 (掲載)	単元名	時 数	学習内容
4 (12)	1 化学変化とイオン(26) 第1章 水溶液とイオン(8)	2	第1節 水溶液と電流 ・実験1 電流が流れる水溶液
		3	【G】【マ】第2節 電解質の水溶液の中での変化 ・実験2 塩化銅液の電気分解



【教科等の年間指導計画】

【自己マネジメント表】

- 地域人材を活用した「生き方講話」を定期的に行っています。
 - ・ 「生き方講話」を「生き方マネジメント」につなげます。<資料 P.6>

【カリキュラム・マネジメントの視点】

「自己マネジメント・シート」で PDCA サイクルを回す力は、教科等横断的に活用できます。特に、「子どもが創るルーブリック」は、教科等でも活用でき、将来につながる力と言えます。

【カリキュラム・マネジメントの視点】

「自己マネジメント表」を参照すれば、子どもたちができるようになったことを教科等横断的に活用できます。「自己マネジメント力」が、教科等横断的に練りあげられ深まっていきます。

【7】客観的データによる見取り及び教育課程評価

C「学級力のグラフをみんなで見て、次はここを頑張ろうと話題にできるからいいです。作戦が当たって、次に良くなったときは嬉しいです」

- 客観的データを、①教員の経験と融合させた教育活動と②教育課程及び授業の評価・改善に活用します。
- 非認知能力と認知能力(学力)を一体として捉えることが重要です。
 - ・ PISA や TIMMS の国際調査で、一体として教育活動を行っている参加国ほど、学力が高いことが明白となりました。
 - ・ 非認知能力・認知能力ともにデータとして、関連づけて教育活動を行うことは効果的です。
- 「個人指導用カウンセリング・シート」は、教職員間で共有されます。
 - ・ 非認知能力と認知能力を一体として子どもを見取るシートです。
 - ・ 定期的に更新することで最新のデータをもとに指導ができます。

	ISS 56	学力期待値 43	英検 5	新体力テスト B
--	--------	----------	------	----------

スコア	全国比	県比
人間関係形成・社会形成能力	83.3	△
自己理解・自己管理能力	83.3	○
課題対応能力	83.3	◎
キャリアプランニング能力	100.0	◎

得点	全国比	得点	全国比
友人	16.0	学習	17.0
教師	16.0	進路	17.0
学校	15.0	部活	14.0

満足	◎
----	---

バランスよい	◎
--------	---

上段が非認知能力
質問紙や QU のデータ

下段が認知能力(学力)
学調や各テストのデータ

多種多様なデータや調査結果を 1 枚のシートにまとめて、子どもを見取り、適切な手立てや支援につなげます。<資料 P.7>

標準学力調査(NRT) R4.3	全国学力・学習状況調査 R4.4	ふくしま学力調査 R3.4	業者テスト R5.2
教科平均値	国語 50.0	国語 46.7	計 41.7
国語	数学 28.6	数学 53.1	国語 43.9
数学	理科 52.4	英語 -	数学 44.6
英語			英語 40.4
理科			理科 41.1
社会			社会 42.1

- 「学級指導用ガイダンス・シート」は、子どもと対話的に共有されます。
 - ・ 学級力向上プロジェクト(早稲田大・田中博之教授)を活用します。
 - ・ 学級力向上は目標ですが、対話的活用が目的です。

「学級力シート」では、「子どもが創るルーブリック」を活用しています。<資料 P.8>

学級力レーダー・チャートは、各学級で「3つの化」が為されています。<資料 P.9>

- 「**キャリア調査**」を、教職員の指導改善に役立てています。
 - ・ 子どもたちの基礎的・汎用的能力をデータ化しています。
 - ・ 令和 4 年度は、前回比で落ち込んだ項目は、翌回には向上が見られました。調査が上手に活用されています。(下記表中【⇒】矢印)
 - ・ キャリア調査は、目指す子どもの姿をデータ化したものです。
- 「キャリア調査」は、全国学調・ふくしま学調の質問紙を活用します。
 - ・ 標準化されているアンケート項目の活用は有効です。
 - ・ 集計する質問項目は、筑波大・藤田晃之教授の提案を参照し、質問紙から基礎的・汎用的能力に価値付けした目指す子どもの姿をピックアップしています。
 - ・ 全国比や県比で比較できることが重要です。
 - ・ 本校独自の能力概念「将来につながる学び」も設定しています。

3つの化

	4月	8月	11月	3月	
基礎的・汎用的能力	人間関係形成・社会形成能力	98.9 - △12.3/△12.0	92.2 ● 6.7 △ 5.6/△ 5.3	⇒ 98.9 ○ 6.7 △12.3/△12.0	98.9 ± 0.0 △12.3/△12.0
	自己理解・自己管理能力	91.7 - △14.8/△11.0	82.9 ● 8.8 △ 6.0/△ 2.2	⇒ 87.9 ○ 5.0 △11.0/△ 7.2	88.4 ○ 0.5 △11.5/△ 7.7
	課題対応能力	77.0 - △10.2/△ 8.7	87.9 ○10.9 △21.1/△19.6	⇒ 86.7 ● 1.2 △19.9/△18.4	88.3 ○ 1.6 △21.5/△20.0
	キャリアプランニング能力	92.3 - △16.7/△13.3	80.9 ●11.4 △ 5.3/△ 1.9	⇒ 86.9 ○ 6.0 △11.3/△ 7.9	89.0 ○ 2.1 △13.4/△10.0
学び	将来につながる学び	91.7 - △12.9/△13.7	94.4 ○ 2.7 △15.6/△16.4	95.0 ○ 0.6 △16.1/△16.7	

四半期制

【令和4年度 キャリア調査】<資料 P.10・11>

- 資質・能力ベースの「学校教育目標」を設定したため、資質・能力ベースの「**学校評価**」を四半期制で実施しています。<資料 P.12>

【カリキュラム・マネジメントの視点】

教科等横断的なデータの活用は、学習改善や授業改善、学校組織改善にもつながります。子どもたちの状態を定量的にも、定性的にも把握し、教育課程評価や学校評価の資料とします。

【 8 】ふるさと学習による資質・能力の育成

C「全校生で町を盛りあげのお手伝いできてよかったです。自分たちが生まれ育った町なので、もっと良くして行って、みんなが集まる町にしたいです」

- 文科省・長田徹教科調査官より「ふるさと学習とキャリア教育は表裏一体です」と、校長が個人的にエールを頂きました。そのため学校経営テーマを、以下のように設定しました。<資料 P.1>
「ふるさと学習」と「キャリア教育」の両輪による「未来への人づくり」
- 「ふるさと学習」が、子どもたちの将来や社会につながることを明確にすることが重要です。以下に一例を示します。
 - ・ 「三島町で世界で活躍する人材づくり」が最上位の目標です。
 - ・ ふるさとの課題は、将来や社会の課題につながっています。
 - ・ 多様な人々と多様な活動で、多くの資質・能力が養われます。
 - ・ 地域の課題を探究する力は、将来に役立つ力です。
- 事前学習や振り返りを、地域と連携して行うことが極めて重要です。
- 「ふるさと学習」の総まとめが「三島町次世代の議会」です。
 - ・ 魅力的な町づくりに貢献できる子どもの育成につながります。
- 「ふるさと学習」は年間を通して意図的に行います。その一例です。



【桐の学習】



【虫送り】



【工人まつり】



【駅前活性化活動】



【町 PR 活動】



【サイノカミづくり】

【カリキュラム・マネジメントの視点】

「ふるさと学習」のつながりで、学校経営に地域の物的・人的資源を活用することが、PDCA サイクルの充実、そして教科等横断的な資質・能力の実現につながります。

また、「ふるさと学習」で、目指す資質・能力が養われ、「学校教育目標」と子どもたちがつながります。

【9】資質・能力の育成に向けた授業改善

T「内容を教えることが大事だと思っていました。授業中に色々な力を養う意識はありませんでした。そのためには、主体的・対話的で深い学びが、やっぱり大事なのですね」

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現により、教科等のめあてを達成する中で、資質・能力を養うことが重要です。
 - ・ 「授業スタンダード」をもとに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、「授業づくりのポイント」<資料 P.13>を例示しています。
 - ・ 「授業づくりのポイント」は、授業者による授業評価に活用でき、そして、教育課程評価にもつながります。
- キャリア教育の視点の授業として以下のことを示しています。

1 今の学びを将来につなげること

「学ぶ意義の明確化」による「学習意欲の向上」を。

T「畑づくりをするにも数学や理科の知識は必要です」

T「自己マネ・シートでのPDCAサイクルは、将来役立つ力です」

C「今の学びは将来につながっているんだね。よしやるぞ！」

C「この勉強は、社会に役立つんだね。よしやるぞ！」

2 資質・能力が養われること

「めあてを達成できて、多くの資質・能力も養われる」授業を。

- 「協働的な学び」「対話的な学び」の一体的な充実
- 「一斉教え込み型授業」

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な実現が重要です。
 - ・ 教職員の経験と客観的データの融合による指導が大切です。
 - カウンセリング・シート, ガイダンス・シート, キャリア調査の活用
 - ・ 一体的な充実が「主体的・対話的で深い学び」につながります。
- 教科等横断的に育成される資質・能力を、教科等横断的に活用することで、資質・能力が深まります。この往還が大切です。
 - ・ この資質・能力が「主体的・対話的で深い学び」につながります。

【カリキュラム・マネジメントの視点】

「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体とした「主体的・対話的で深い学び」が、多様な資質・能力の育成につながります。

「主体的・対話的で深い学び」で育成する資質・能力が、学校教育目標と教育課程をつなぐ、ひとつのツールとなります。



資料編





【学校教育目標】「未来への人づくり」が達成された子ども達の姿

自分の良さを知り、人とのつながりがりを大切にでき、自己の役割を果たし、計画的に行動できる生徒

(自己理解能力)

(人間関係形成・社会形成能力)

(課題対応能力)

(自己管理能力, キャリアプランニング能力)

【学校経営のテーマ】

「ふるさと学習」と「キャリア教育」の両輪による「未来への人づくり」の充実

【学校経営のポイント】学校経営の研究仮説

「見える化」「共有化」「意識化」の「3つの化」から

できたことの「自覚化」「目標化」を通じた「対話」「協働」による資質・能力の育成

基礎的・汎用的能力に
価値付けした
学校教育目標

【カリキュラム・マネジメントの充実】

少人数を生かした「主体的・対話的で深い学び」への授業改善

- ①「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用
- ②「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体化した実践
- ③めあて・まとめの整合性及び振り返りの充実

客観的データの活用による的確な支援の充実

- ①カウンセリング・シートの活用(キャリア調査, QU, 学力等)
- ②ガイダンス・シートの活用(学級力向上プロジェクト)
- ③四半期制でのキャリア調査のデータの活用

「キャリア教育」の視点で取り組む授業の実践

- ①学ぶ意義の明確化による学習意欲の向上
- ②授業における基礎的・汎用的能力の育成
- ③三島式「対話メソッド」を活用した「対話力」の育成

「対話」「協働」による「重点資質・能力」の育成

- ①「対話」「協働」による「重点資質・能力」の設定
- ②四半期制での「ルーブリック」による自己評価・改善
- ③主体的・協働的に取り組む「探究的な学習」の充実

対話的な「日記帳」「キャリア・パスポート」の活用

- ①将来とつなげる意図的・対話的なコメントの記載
- ②生徒の自己理解, 教職員の生徒・保護者理解へ
- ③保護者面談での活用による子ども達の姿の共有

「ほめポイントの共有」による「ほめて伸ばす教育」の充実

- ①「ほめた内容」の共有で「つながる」指導の充実
- ②「自分のよさ・他人のよさ」の理解へ
- ③道徳教育の充実による道徳的実践意欲・態度の育成

「ふるさと学習(探究学習)」による資質・能力の育成

- ①「ふるさと学習」での「探究プロセス」の充実
- ②意図的な「意思決定(自己選択・自己決定)」の場の設定
- ③教科横断的な「探究的な見方・考え方」の活用の充実

「健康マネジメント力」の育成

- ①計画的・効果的な「自分手帳」の活用
- ②三島サーキット及び全校陸上・駅伝の充実
- ③関係機関と連携した危機管理能力「命を守る力」の育成

「自己の生き方」を考える将来につながる学びへ

- ①キャリア講演会での多様な「生き方」を学ぶ機会の設定
- ②教職員の「生き方」講話の実施
- ③「生き方」の「見える化」による「自覚化」「目標化」

令和5年度 三島っ子が身につけたい重点資質・能力

【学校教育目標】「未来への人づくり」が達成された子どもの姿

- 自分の良さを知り ----- (自己理解能力)
- 人とのつながりを大切にでき ----- (人間関係形成・社会形成能力)
- 自己の役割を果たし ----- (課題対応能力)
- 計画的に行動できる力 ----- (自己管理能力)
- (キャリアプランニング能力)

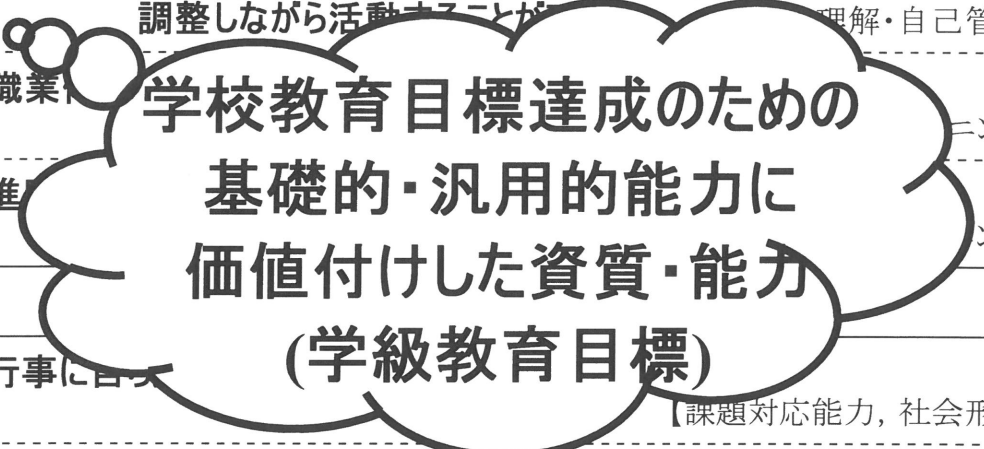
【第1四半期】 4月初旬～6月中旬



1年	時と場に応じたあいさつや受け答えが確実にできる。 【人間関係形成・社会形成能力】
2年	状況に応じた言葉遣いや態度ができる。 【人間関係形成・社会形成能力】
3年	学級・生徒会・部活動における自分の役割を自覚し、責任ある行動ができる。 【自己理解・自己管理能力】

【第2四半期】 6月中旬～9月末

1年	「じぶんログ」を活用し、生活・学習の計画を立て、調整しながら活動することができ、自己理解・自己管理能力
2年	職業の進路を自覚し、キャリアプランニング能力
3年	進路の進路を自覚し、キャリアプランニング能力



1年	行事に自ら参加し、課題対応能力、社会形成能力
2年	3年生から役割を引き継ぎ、中堅学年としてリーダーシップを発揮できる。 【人間関係形成・社会形成能力】
3年	綿密な計画を立て、改善しつつ計画に沿って学習できる。 【自己理解・自己管理能力】

【第4四半期】 12月中旬～3月末

1年	計画的に学習に取り組むことができる。 【自己理解能力、キャリアプランニング能力】
2年	自己マネジメント力を向上させながら生活できる。 【自己理解・自己管理能力】
3年	あいさつ・返事・服装・言葉遣いを意識し、適正に対応できる。 【人間関係形成・社会形成能力】



「見える化」「共有化」「意識化」の「3つの化」からできたことの「自覚化」「目標化」を通じた「対話」「協働」による資質・能力の育成

【ほめポイント】5月24日

3つの化

- ・ 不在の人の活動をみんなで分担して頑張っていた
- ・ ○○さんの給食アラカルトの放送は上手だった
- ・ 理科で○○さんが上手に実験結果の説明をしていた
- ・ 「ほめポイント」で、つながる

【ほめポイント】5月22日掲示

- ・ 中体連でみんな疲れているのに、明るく過ごしていてすごい！
- ・ 2年生の畑の芽がほとんど出ていた。みんなで丁寧に育てたから！
- ・ 1年生が森林学習頑張っていた
- ・ ○○さん， ○○さん， ○○さん， が計画的に陸上の片付けをした

重点資質・能力自己マネジメントシート

3つの化

見ました
△

今年度、各学年で【三島っ子が身につけたい重点資質・能力】を設定しました。その力について、各レベルの基準を設定して、評価・改善(自己マネジメント)できるようにしましょう。

レベル B「今の自分の姿」を最初に考えると、書きやすいです。次にレベル A の最高の姿を考えるとよいでしょう。レベルの目標は友達と練りあげても構いません。

四半期の目標(評価規準)

四半期制

重点資質・能力 状況に応じた言葉遣いや態度ができる。

四半期はじめ 5月 12日 (評価基準)

レベル A(3点) 【上記の目標に関して、あなたが考える頑張ればできる最高の姿】

状況に応じて、相手が何を聞きたいかを判断する。おつにめ

先生に言われなくても理由、根拠が言え、自分の思いまで言える。

【宣言】私は(6)月(初旬・中旬・下旬)には達成できます。

レベル B(2点) 【上記の目標に関して、あなたが考えるあなたの今の姿】

最語まで話を聞け、伝えたいことが明確である。

レベル C(1点) 【あなたが考える、ここまで下がっては、あなたがだめだろうという姿】

子どもが創るルーブリック

レベル D(0点) 全...

四半期終わり 6月 30日 評価・反省をして「ほめほめ会」を実施しよう!

- ① 到達した上記のレベル(A～D)を「○」で囲みましょう
- ② 最もよくできたことを1つ書きましょう
- ② 友達からあなたの達成状況の姿(あなた)

自己評価・相互評価

上記の「四半期の目標(評価規準)」に関して、最も「できた」と思うことを1つ書いてみましょう。

意識して生活できてましたね。
先生に言われなくても理由、根拠が言え、自分の思いまで言える。

自分のよさ発見!!

「ほめほめ会」で友達から

話しても偉く持して、伝えることは

自分から積極的に意見を言える。僕らがみんなに伝えている。理由、根拠が言える。

自分から発言を行動することは大切なので、これからも続けていきたい。はな

いつも、自ら発表し、そのあとに理由や根拠を言っていることか、とてもいいと思います。

自ら進んで発表している姿を見ると、勇気が湧いて、私もがんばろうと思える!みんなに勇気を

くれてありがとう!

積極的な発言が、みんなの役にたいて、自分も行動できるよ!にしたい。

学級活動「ほめほめ会」

お家の人からの励ましコメントをお願いします

相手に自分の思いをしっかりと伝えること、とても大切なこと。

その時の状況・雰囲気をおまわりしながら相手に伝えることが大切かなと思います。

令和5年度「将来の夢に向けて、自己マネジメントできる生徒」に向けた資質・能力表

評価	第1四半期											
週	(4/1~)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 (目安6/17)
月	4月					5月			6月			
学級	家庭学習を計画し、家庭学習を改善できる (帰りの会)					学習を振り返ることができる 生活を改善できる (管理手帳・自分ログ)			心と体の健康を 振り返ることができる (毎朝の申請)			
道徳	差別や偏見のない 集団を構築できる (1年・いじめのない集団)					主体的に生き方を考える ことができる (2年・働くということ)			困難や失敗を乗り越えて やり遂げることができる (3年・高い目標をめざして)			
特別活動	資質・能力の目標を ループブックで設定し 評価・改善できる キャリア・パス					学級の課題の改善方法を ループブックで設定できる (全学年・学級力向上P) 学級力			3つの化			
	規則正しい生活習慣を 身につけることができる (1年・生活習慣を直そう)					よりよい学習方法を 身につけることができる (2年・学習の仕方の改善)			進路計画をたて 将来を見通すことができる (3年・進路の見通し)			
ふるさと学習	<div style="text-align: center;"> 教科等横断的な 自己マネジメント力の育成 </div>											
総合	ふるさとを 解決方法を 考えることができる (地域課題探究学習)					探究プロセスを繰り返し 主体的に新たな課題を 見いだすことができる (年間を通して)			あい を できる (桐里ウォーク)			
行事	新たな決意を もつことができる (入学式・始業式)					健康を保持 することができる (身体測定) 自分手帳			自分の命は自分で 守ることができる (交通教室・避難訓練) 対話メソッド			
教科	必要に応じて記録したり質問したり しながら話の内容を捉え、共通点や 相違点などを踏まえて、自分の考えを まとめることができる (1年国語・情報を正確に聞き取る)					食品の栄養素について理解し、「中 学生に必要な栄養を満たす」という目 的に沿って献立を作成できる (1年家庭・中学生に必要な栄養を満 たす食事)			水溶液とイオンについて、見通しを もって観察、実験を行い「対話メソ ッド」を活用しながら話す力・聞く力・話 し合う力を高めることができる (3年理科・化学変化とイオン)			
	数学的な考え方で生活の課題を解 決できる (全学年数学・年間を通して)					音楽文化に親しみ生活を明るくでき る (全学年音楽・年間を通して)			ものづくりにおいて、構想・設計・改 善及び修正ができる (1・2年技術・ものづくり)			
その他	生き方を考えることができる (生き方講話・キャリア講演)					ほめポイントにより 自分のよさ・他人のよさ を理解できる (ほめポイントの見える化)			キャリア教育で育成する 資質・能力を 評価・改善できる (キャリア調査)			

勉強することで

未来の選択肢をつくることが大切です
警察官は、人の役に立っている
やりがいを感じられる



「生き方講話」から
「生き方マネジメント」へ

福島県巡査部長 ○○○○ 様

令和5年4月11日 交通安全教室

よい出会いがあり教員を目指した

あきらめないうで努力し続けることが大切
あきらめなければ夢は叶う

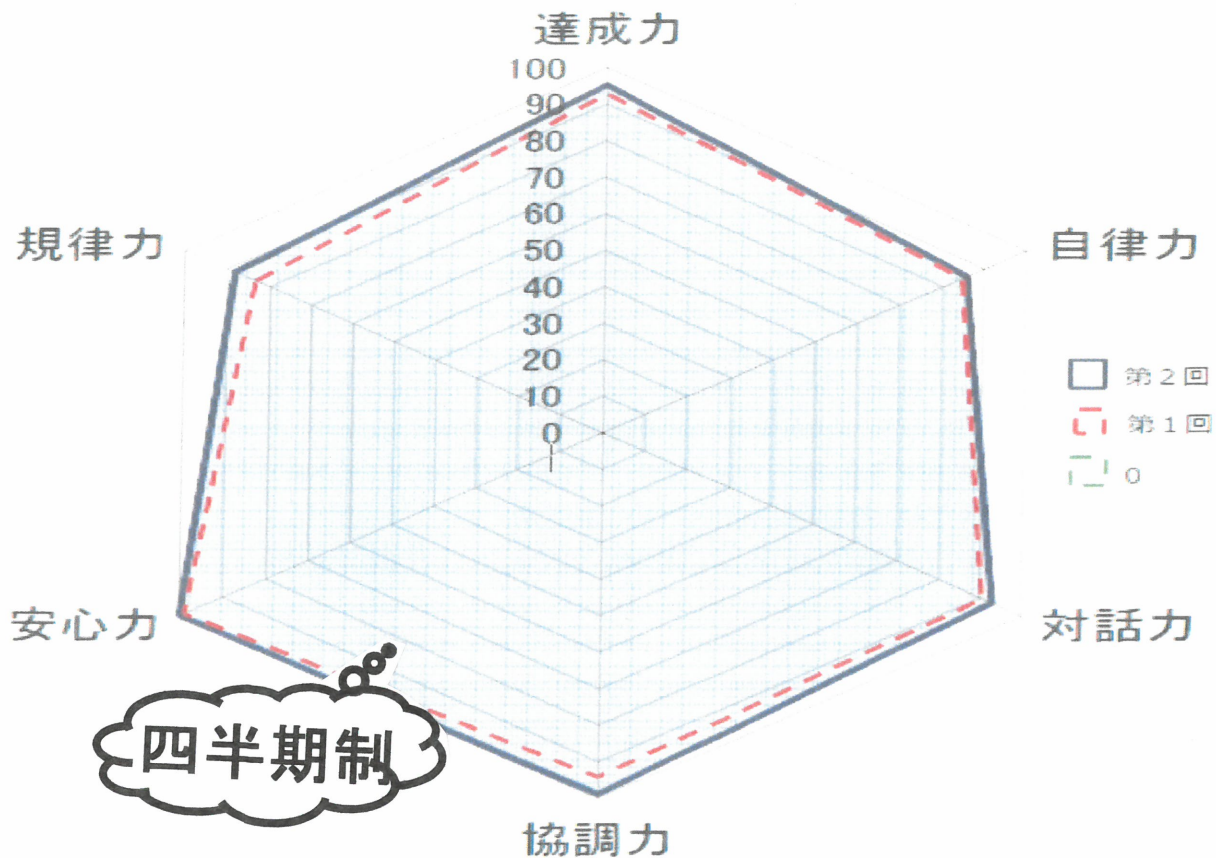


○○○○ 教頭先生

令和5年5月8日 朝会・生き方講話



【みなさんの力による、学級力の向上】のために、学級力調査を行いました。学級力レーダーチャートを見て、【学級力の向上】のため、自分は何ができるかを考えてみましょう。ここに書いたことは、成績や評価には一切影響しませんので、自分をよく振り返ってみましょう。



<<注意>>裏面に学級力アンケートの項目を掲載したので、記載の際の参考にしてください。

レベルA 【考えた学級力の課題に関して、あなたが頑張ればできる最高の姿】 *主体的に行動する力、自己評価・改善する力は将来に役立つ力です!*

「気がついて動く姿」頼もしくなる姿。 他人まかせではなく、自分から率先して行動すること。

【宣言】私は(3)月(初旬・中旬・ 下旬)には達成できます。

レベルB 【考えた学級力の課題に関して、あなたの今の姿】

クラスで協力して忘れていた人がいたら声をかけ、行動すること。

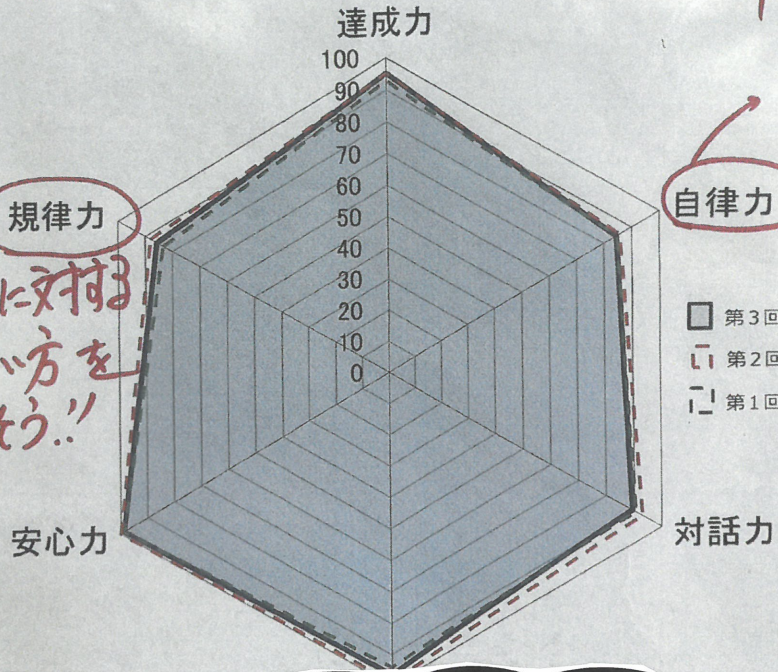


3つの化

全体としてバランスはとれています!!

2年生

規律力
「学習」に対する
向き合い方を見直そう!!

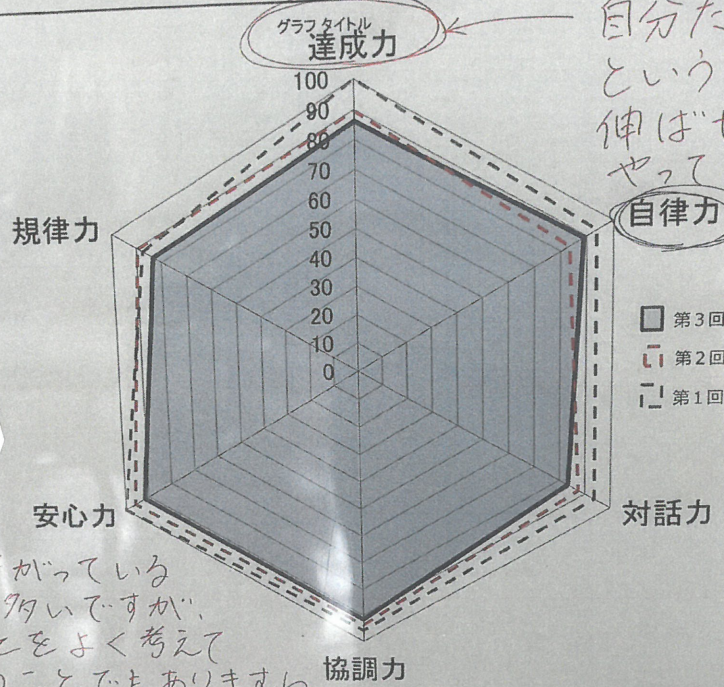


「はじめ」
を意識しよう!!

子どもたちと対話的に
共有する学級力

3年生

四半期制



自分たちで行動
というところを
伸ばせるように
やってみよう!

前回より
上がって
いますね
すばらしい

全体的に下がっている
ところが多いですか、
自分のことをよく考えて
いるということでもありますね。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 及び ふくしま学力調査の質問紙における キャリア教育を通して育てる基礎的・汎用的能力の調査結果

この調査は、全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査の質問紙において、キャリア教育を通して育てる基礎的・汎用的能力に該当するであろうと思われる項目を選び、肯定的な意見を集めた。



【表中数値の説明】

<上段>本校生徒の調査における肯定的意見の割合(%)

<中段>校内において、○前回調査との比較(ポイント) ○今回が上回る、●同・下回る

<下段>全国(4月)との比較(ポイント) △本校が上回る、▽同・下回る

四半期制

		4月	8月	11月	3月
基礎的・汎用的能力	人間関係形成・社会形成能力	98.9 - △ 12.3/△ 12.0	92.2 ● 6.7 △ 5.6/△ 5.3	98.9 ○ 6.7 △ 12.3/△ 12.0	98.9 ± 0.0 △ 12.3/△ 12.0
	自己理解・自己管理能力	91.7 - △ 14.8/△ 11.0	82.9 ● 8.8 △ 6.0/△ 2.2	87.9 ○ 5.0 △ 11.0/△ 7.2	88.4 ○ 0.5 △ 11.5/△ 7.7
	課題対応能力	77.0 - △ 10.2/△ 8.7	87.9 ○ 10.9 △ 21.1/△ 19.6	86.7 ● 1.2 △ 19.9/△ 18.4	88.3 ○ 1.6 △ 21.5/△ 20.0
	キャリアプランニング能力	92.3 - △ 16.7/△ 13.3	80.9 ● 11.4 △ 5.3/△ 1.9	86.9 ○ 6.0 △ 11.3/△ 7.9	89.0 ○ 2.1 △ 13.4/△ 10.0
学び	将来につながる学び	91.7 - △ 12.9/△ 13.7	94.4 ○ 2.7 △ 15.6/△ 16.4	95.6 ○ 1.2 △ 16.8/△ 17.6	97.8 ○ 2.2 △ 19.0/△ 19.8

(考察)

4回の調査において、全ての項目で県及び全国平均を大きく上回った。各枠<下段>参照。本校生徒は、将来に向けた資質・能力(基礎的・汎用的能力)が確実に養われていることが示された。

今年度の取り組みである、①ほめポイントの共有、②重点資質・能力の見える化・共有化・意識化、③生き方講話・キャリア講演会、④ふるさと学習とキャリア教育の両輪による取り組みによって、資質・能力が高まったと考えられる。

年間をとおして、前回比で落ち込んだ資質・能力に関しては(各枠<中段>参照)、翌回では回復している。本調査を共有した意図的・組織的な関わりの成果である。

また、本校生徒は県及び全国平均比(各枠<下段>参照)で、課題対応能力が最も優れていると判断できる。これは、ふるさと学習の一環としての地域課題探究学習を継続して実施した成果である。来年度は、資質・能力のさらなる向上のためにも、地域課題探究学習を、より充実させたいと考える。

さらに、「今の学びが将来や社会につながることを明確にし、教育活動を行ってきた本校が目指す能力概念「将来につながる学び」の視点も調査を重ねることに高まる。

今後も「目の前の子どもたちに身につけさせたい資質・能力」を、両輪とした学校教育を充実させる。さらに、「主体的・対話的認知能力を一体とした学力向上を図る。

指導改善のための キャリア調査

(令和5年度のカリキュラム・マネジメントの充実に向けて)

5能力において、県及び全国平均比(各枠<下段>参照)で高い能力を有していることが示された。強いて言えば、「自己理解・自己管理能力」が、県及び全国平均比と比較すると、他の能力より若干低いことが分かる。

よって、令和5年度の目指す生徒像を「将来の夢に向けて、自己マネジメントできる生徒」に設定する。この取り組みにより、自己管理能力及び他の能力も関連・連携して高まると研究仮説をたてる。

各学力調査の質問紙において基礎的・汎用的能力とした項目

【3年】

()は全国学調の質問紙の番号

<人間関係形成・社会形成能力>

- 1 人が困っているときは、進んで助けていますか(8)
- 2 友達関係に満足していますか(14)
- 3 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか(40)

<自己理解・自己管理能力>

【対話的な学び】

- 4 自分には、よいところがあると思いますか(4)
- 5 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか(13)
- 6 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか(15)

<課題対応能力>

- 7 家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)(16)【家庭での学習習慣の確立】
- 8 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか(37)【主体的な学び】
- 9 授業で学んだことを、他の学習で生かしていますか(42)

<キャリアプランニング能力>

- 10 将来の夢や目標を持っていますか(7)
- 11 人の役に立つ人間になりたいと思いますか(11)
- 12 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか(41)

<将来につながる学び> 【1～3年共通】

- 13 学校に行くのは楽しいと思いますか(12)
- 14 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う(30)
- 15 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか(43)
- 16 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか(46)
- 17 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか(50)
- 18 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか(58)
- 19 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか(62)

【2年】

()はふくしま学調の質問紙の番号

<人間関係形成・社会形成能力>

- 1 時と場に応じた適切な言葉遣いができていますか(33)
- 2 相手の気持ちやその場の状況を考え、優しい言葉遣いができていますか(34)
- 3 先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができていますか(36)

<自己理解・自己管理能力>

- 4 あなたの勉強のやり方について、問題が退くつでつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるように努力する(2エ)
- 5 授業の難しさ、先生のこと、自分の実力のことなどを考えれば、自分はこの授業でよくやっているほうだと思う(10)
- 6 自分には、よいところがあると思いますか(19)

<課題対応能力>

- 7 あなたの普段の勉強のやり方について、新しいことを勉強するとき、今までに勉強したことと関係があるかどうかを考えながら勉強する(2キ)
- 8 あなたの普段の勉強のやり方について、勉強するときは、自分で決めた計画に沿って行う(2チ)
- 9 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか(20)

<キャリアプランニング能力>

- 10 あなたは、勉強する理由について、どのように考えていますか。将来、役に立つから。(1)
- 11 将来の夢や目標を持っていますか(22)
- 12 将来どの学校まで進みたいと思いますか(23)

【1年】

()はふくしま学調の質問紙の番号

<人間関係形成・社会形成能力>

- 1 時と場に応じた適切な言葉遣いができていますか(38)
- 2 相手の気持ちやその場の状況を考え、優しい言葉遣いができていますか(39)
- 3 先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができていますか(41)

<自己理解・自己管理能力>

- 4 あなたの勉強のやり方について、問題が退くつでつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるように努力する(2エ)
- 5 授業の難しさ、先生のこと、自分の実力のことなどを考えれば、自分はこの授業でよくやっているほうだと思う(10)
- 6 自分には、よいところがあると思いますか(24)

<課題対応能力>

- 7 あなたの普段の勉強のやり方について、新しいことを勉強するとき、今までに勉強したことと関係があるかどうかを考えながら勉強する(2キ)
- 8 あなたの普段の勉強のやり方について、勉強するときは、自分で決めた計画に沿って行う(2チ)
- 9 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか(25)

<キャリアプランニング能力>

- 10 あなたは、勉強する理由について、どのように考えていますか。将来、役に立つから。(1)
- 11 将来の夢や目標を持っていますか(27)
- 12 将来どの学校まで進みたいと思いますか(28)

保護者 様

三島町立三島中学校長 鶴水 達也

学校評価のお知らせについて

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、学期末を迎え、保護者アンケートにつきまして、多くの項目で高評価をいただきました。つきましては、今後の教育活動の指

資質・能力ベースの
学校評価

ご確認をお願いいたします。また、ご意見の欄に、ご要望や励ましを受け止め、学校運営にいかして参ります。何かございましたら、遠慮なくご連絡をお願いいたします。

記

集計方法	生徒・保護者の肯定的な意見の割合を算出
集計内容	生徒は「キャリア調査」の内容を集計（保護者の内容と異なる） 「全国比」とはR4全国学力・学習状況調査の質問紙との比較 保護者については、保護者アンケートの内容を集計

1 保護者アンケートの結果について

- (1) 楽しく学校に通っている ----- **92.9%** (前年度比+8.7)
- (2) 授業が楽しいと考えている ---- **85.7%** (前年度比+1.5)
- (3) 1日7・8時間の睡眠の確保 -- **78.6%** (前年度比+15.4)

【考察】

この3項目は、例年学校運営の指標としているものです。前年度比は、(1)90.2%、(2)84.2%、(3)63.2%。しかし、「授業が楽しいと考えている」90%、「1日7・8時間の睡眠の確保」78.6%を目標としていたため、より一層の教育活動の改善に取り組んで参ります。

3つの化

2 資質・能力に関して

- (1) 人間関係形成・社会形成能力 -- **85.7%** (生徒91.7% 全国比+4.8)
(保護者) 時と場に応じた適切な言葉遣いができる
- (2) 自己理解・自己管理能力 ----- **85.7%** (生徒72.2% 全国比▼8.5)
(保護者) 自分には良さがあると思っている
- (3) 課題対応能力 ----- **92.9%** (生徒85.8% 全国比+17.5)
(保護者) 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している
- (4) キャリアプランニング能力 ---- **64.3%** (生徒89.2% 全国比+10.2)
(保護者) 将来の夢や目標をもっている

【考察】

この4能力は「将来必要な資質・能力」と定義されているものです。概ね高い能力を有しています。保護者アンケートから、「キャリアプランニング能力」に関して改善が必要と考えますので、「将来の夢」に向けて努力を積み重ねるていける指導を行って参ります。

3 重点資質・能力(4～6月設定)に対応する保護者の評価

- (1年) 時と場に応じたあいさつや受け答えが確実にできる ---- **100%**
- (2年) 状況に応じた言葉遣いや態度ができる ----- **100%**
- (3年) 自分の役割を自覚し、責任ある行動ができる ----- **100%**

【考察】

令和5年5月8日付けで、今の三島っ子たちに身につけさせたい「重点資質・能力」をお知らせしました。今回の保護者アンケートで非常に高い評価をいただきました。

今後、「重点資質・能力」をもとに、生徒は自己評価・相互評価を行います。そのキャリアプランニングシート「重点資質・能力自己マネジメント・シート」を、後日ご家庭に持ち帰らせていただきます。ご記入いただき、メッセージをご記入いただければと思います。

四半期制

4

「キャリア調査」については、本校HPで公開しています。ご確認をお願いいたします。

(事務担当 教頭 菅野直幸 電話0241-52-2015)

三島中「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けた 授業づくりのポイント

教材との出会い・学習課題の把握

【主体的な学び】	【対話的な学び】
<ul style="list-style-type: none"> ・ I C Tや具体物などを提示して具体的なイメージをもたせる ・ 既習事項との関連を考えさせる ・ 生徒の興味・関心を引き出し、必然性のある課題設定をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話を通して、生徒の問いを引き出し、解決意欲を高める ・ 対話を通して、課題をつくる ・ 対話を通して、授業の目的のイメージをもたせる。

【深い学び】
この授業で「何を学習するか」「何ができればよいか」を明確にする！

課題の追究・解決

【主体的な学び】	【対話的な学び】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に対する予想を立てさせる ・ 疑問点を挙げてみる ・ 学習の進捗を確認する ・ 自己学習を進めさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の考えを聞き取り、共有させる ・ 対話を通して、課題を深掘りさせる

「主体的・対話的で深い学び」
の実現による資質・能力の育成

【深い学び】
自分の考えをもたせるとともに、その考えを交流させる場をつくる！

まとめと振り返り・新たな学び

【主体的な学び】	【対話的な学び】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の流れが分かる構造的な板書にする ・ 「何を学習したか」をまとめさせる ・ 「どのように学習してきたか」を振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対話を通して、学習内容をまとめていく ・ まとめた内容や振り返った内容を発表し、足りない部分を補い合えるようにする

『授業の感想や気が付いたこと』、『友だちの考えのよかったこと』、『もっと勉強したいと思ったこと』などを提示して振り返りを行う。

【深い学び】
学習内容の確実な定着を図るとともに、新たな学びへとつなげていく！